

## 【続報】新型コロナウイルスによる物流への影響

米国の新型コロナウイルスの感染者数が中国を上回り世界最多となるとともに、世界の感染者数は70万人を超え、死者は3万4000人を突破しました。感染者は欧米を中心に南米・中東・東南アジアでも広がり、世界の20億人以上が外出制限の対象となっています。世界全体でウイルスの感染拡大が続いている中、本号では世界各地における物流への影響を中心にお伝えします。

### 1. 各地における物流への影響

現時点で確認された各地における物流の影響は以下のとおりです。

#### 【インド】

・インドでは、3月25日から21日間インド全土をロックダウンすると宣言されました。物流においては、食料品・医薬品等の生活必需品以外は輸送を停止しており、鋼材・機械・原材料といった生活必需品以外はCFSに留め置かれています。また、新型コロナウイルスの感染拡大により人手不足や活動の制限が発生し、食品や医薬品などの輸送にも影響が出始めています。

・トラック輸送では全土封鎖措置を受け、警察に車両の通行を制限されるケースが発生しています。政府は食料品など必需品の物流は確保するとの方針を示していますが、必需品を運ぶ車両とそれ以外の車両が区別されず混乱を招いています。

・デリー空港の貨物ターミナルでは通常200名以上が勤務していますが、現在は10名ほどに縮小されており、航空機から貨物を降ろせない等のターミナルの混乱が生じています。

・インド海運省は、25日より過去14日以内に中国への寄港実績のある船舶のインド港湾への入港を禁止しました。また、欧州、中東などの検疫対象国に過去14日以内に寄港した船舶にも荷役作業中の船員の感染対策を要求しています。コンテナ貨物を中心に取り扱うJNPTターミナルでは、トラックドライバーとドレージ不足により貨物の搬出入が困難となり、ターミナルの稼働率が30%程になっています。

#### 【タイ・ミャンマー国境】

・22日までに、タイ北西部ターク県メソトとミャンマー東部カイン州ミャワディ間の国境の川に架けられた2本の友好橋を閉鎖しました。国境ゲートでは、タイから帰国するミャンマー人出稼ぎ労働者が急増しており、首都ネピドーやカイン州パアンとコーカレイから派遣された医療従事者や政府職員・ボランティアなどが、帰国していた労働者が新型コロナウイルスに感染していないかどうかの検査を実施しています。

#### 【カンボジア】

・カンボジア政府は23日までに隣国のタイ、ベトナム、ラオスとの国境を閉鎖しました。物資の搬送は継続されていますが、タイと国境を接する地域では、北西部のバンテイメンチェイ州ポイペト、バタンバン州プノムチャイ、ウドンメンチェイ州オスマック、西部パイルン州プラムの国境検問所4カ所が閉鎖されました。バンテイメンチェイ州とバタンバン州では、州境の検問所15カ所、郡境の検問所4カ所も閉鎖されています。

#### 【フィリピン】

・マニラ国際コンテナ港(MICP)では職員の感染が判明し、一時閉鎖しています。貨物のX線検査などの施設は、通常通り運営するよう指示されており、輸入関連の手続きも引き続き実施する方針です。

## 【パキスタン】

- ・パキスタン政府は、3月21日から4月4日までの2週間国際線の旅客機の受け入れを一時的に停止していますが、貨物便は通常運行しており、税関や空港オペレーションの規模を縮小して対応しています。
- ・カラチ港においても規模を縮小して対応しており、通関のスピードが遅くなっています。また、輸送が許可されている貨物は食料品、医薬品、政府関連品、通信機器に限定され、港から引取り可能な貨物も左記に限定されています。

## 【オーストラリア】

- ・オーストラリア・クイーンズランド州政府は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けてニュージーランドと南太平洋諸国を除く全ての国の貨物船に対し、出港してから14日間以内の入港を禁止しています。(従来、中国と韓国からの貨物船に限定していたものを、対象国拡大したもの。)また、同様の措置は、西オーストラリア州のアルバニー、バンバリー、エスペランスの港でも施行されています。
- ・東南アジアなどから輸入する食品や日用品は、クイーンズランド州の港を迂回し、ニューサウスウェールズ州やビクトリア州の港での陸揚後さらにトラックで輸送する必要があり、供給に大きな遅延が出るとして輸送会社からの反発が出ています。

## 【南アフリカ】

- ・南アフリカでは3月26日から4月16日まで21日間のナショナル・ロックダウンが行われています。港湾施設は対象外となっていますが、自動車ターミナルなどは稼働を停止しています。また、コンテナターミナルについても作業員不足により荷役効率が低下しています。リーファー貨物を優先的に取り扱う関係から、他のドライ貨物の対応が遅れる可能性があります。

## 2. 弊社グローバルネットワークのご案内

前述のように各国政府からの指示により行動制限が発生しているものの、現時点では海外拠点の弊社社員、海外クレームエージェントを含め、リモートワークなどを活用してお客様対応を継続しております。事故発生の際には、下記の損害サービスネットワーク、弊社コマーシャル損害部または営業課までご連絡いただきますようお願い致します。

[https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/songai/kamotsu/kaigai\\_network/](https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/songai/kamotsu/kaigai_network/)



### 【出典】

ジेटロ : <https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/03/86f0f22d97de9134.html>

ジेटロ : <https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/03/66e0d97ef19086ac.html>

ジेटロ : <https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/03/a1fa7f327bf22284.html>

NNA : <https://www.nna.jp/news/result/2025338#%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A>

NNA : <https://www.nna.jp/news/result/2024699#%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A>

NNA : <https://www.nna.jp/news/result/2023669#%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A>

NNA : <https://www.nna.jp/news/result/2023452#%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A>

NNA : <https://www.nna.jp/news/result/2022867#%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A>

JOC : [https://www.joc.com/international-logistics/containers-pile-indian-docks-amid-covid-19-lockdown\\_20200326.html](https://www.joc.com/international-logistics/containers-pile-indian-docks-amid-covid-19-lockdown_20200326.html)

Dawn : <https://www.dawn.com/news/1543291/chaos-sweeps-business-as-sindh-lockdowns-begin>

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

マリンピックスのバックナンバーはこちら

